

令和6年7月期 定例教育委員会議

- ・開催日時 令和6年7月25日(木) 午前10時00分から
- ・開催場所 羽曳野市役所 別館3階 会議室1・2・3
- ・出席者
教育長 村田明彦
教育長職務代理者 奥野貞一
委員 多田謙司
委員 新熊和彦
委員 古山美穂
- ・説明者
教育監兼生涯学習部長 田中直明
学校教育部長 藤田晃治
学校教育課理事 黒木悟
学校教育課長 伊藤圭
文化財・世界遺産室長 南口修二
教科書選定委員長 松村章生
教科書選定副委員長 東浩朗
- ・事務局
教育政策課長 寺元麻子
教育政策課長補佐 尼丁香奈
学校教育課参事 種村知哉
学校教育課長補佐 林夕記
学校教育課長補佐 新見豊和
学校教育課長補佐 篠原靖
- ・議事日程
 - 日程第1 会議録署名委員の指名について
 - 日程第2 議案第15号
令和7年度使用小学校教科用図書採択について
 - 日程第3 議案第16号
令和7年度使用中学校教科用図書採択について

- 日程第 4 教育長月次報告
- 日程第 5 報告第 8 号
史跡古市古墳群の追加指定について
- 日程第 6 議案第 17 号
羽曳野市教育改革審議会委員の任命について
- 日程第 7 議案第 18 号
令和 6 年度羽曳野市市民表彰候補者の推薦について
- 日程第 8 議案第 19 号
後援名義の使用許可について
- 日程第 9 報告第 9 号
後援名義の使用許可について
- 日程第 10 その他
・ 日程調整等

[教育長 開会の挨拶]

開会：午前 10 時 00 分

日程第 1 会議録署名委員の指名について

教育長において、古山委員を指名しました。

日程第 2 議案第 15 号

令和 7 年度使用小学校教科用図書の採択について

- 学校教育部理事から、資料に基づき令和 7 年度使用小学校教科用図書の採択について説明があり承認を求めました。

《学校教育部理事》

令和 7 年度使用小学校教科用図書の採択をしていただきます。

小学校の教科書については、5 月の教育委員会議において、現在使用している教科書の実績を踏まえつつ、昨年度の調査・研究の内容を活用して採択することでご承認いただきました。

お手元の資料 1 が令和 7 年度使用小学校教科用図書案で、現在使用している教科書の一覧と同様になっております。

それでは、資料 1 にて、令和 7 年度使用小学校教科用図書の採択についてご審議よろしくお願いいたします。

【採 決】全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第 3 議案第 16 号

令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について

- 学校教育部理事より、資料に基づき令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について説明がありました。

《学校教育部理事》

資料 2、資料 3 の令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択につきまして選定委員会からの答申についてご審議いただき、採択を行いたいと思います。

今年度は、羽曳野で育つ児童にとって学ぶ意欲の向上につながるものがあるかを選定の視点の中心とし、目標・内容の取扱い、人権の取扱い、発達段階への考慮、組織・配列、学びの工夫、補充的な学習・発展的な学習等について、各教科の調査・選定にあたりました。

それぞれ各社の教科書には、特徴があり、どれもすぐれた編集がされておりましたが、先ほど述べました、羽曳野で育つ児童にとって学ぶ意欲の向上につながるものがあるかという方針に基づき、調査・研究をしていただきました。調査委員会は、教科ごとに複数回開催し、調査報告書を作成しました。

選定委員会につきましては、調査報告に基づき計3回の協議を行い、答申の作成を進めました。また本日お集まりの教育委員の方々には事前に教科書を閲覧していただきました。

本日の流れですが、調査委員会からの調査報告資料と選定委員会からの答申資料を基に、教科ごとに選定委員会からの答申内容の説明および質疑応答の時間を取ります。そして、教育委員で教科ごとに審議、採択いただきますようお願いいたします。

《選定委員長》

資料4 中学校学習指導要領における各教科の目標一覧をご覧ください。

今回ご審議いただきます全種目・各社の教科用図書とも、こちらに示されている各教科の目標の達成に必要な内容が適切に取り扱われており、発達段階に応じた教材が創意工夫され、配列されています。

本市で使用する教科用図書として示された各観点において、全種目・各社の教科用図書とも、その基準をおおむね満たしていることを冒頭に申しあげておきます。

資料2 令和7年度使用教科用図書選定資料 調査・研究 報告書（中学校用）をご覧ください。各教科で調査委員会を組織し調査研究を行っていただきました。その際調査研究の観点項目としては、目標・内容の取扱い、人権の取扱い、発達段階への考慮、組織・配列、学びの工夫、補充的な学習・発展的な学習、その他があります。

本日は時間に限りがあることから、羽曳野市の子どもたちにとってより良い教科用図書をという観点からポイントを絞ってご説明させていただきます。

また、説明にあたりまして、資料3 選定委員会答申にも書かれています内容ではありますが、特徴的な例を示しながら、説明させていただきます。

【以下、教科ごとに採択】

国語

《選定委員長》

国語における教科書は4社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まず、東京書籍でございます。

1年生で申し上げますと、58ページ、118ページ、162ページをご覧ください。全ページに共通するのですが、説明的文書では、3年間を通して、構成・展開、

吟味・判断、言葉とメディアを軸として設定されており、言葉を深めながらも様々な場面に広げようとする構成となっています。このことは、2年生56ページ、102ページ、3年生の50ページ、106ページ、188ページも同様です。

次に2年生の64ページをご覧ください。

QRコンテンツの豊富さが特徴的であり、各単元のでびきにはQRコンテンツが付いており、本文に出てくる実験や筆者のインタビュー動画等が視聴できます。

また、文法ゲームや練習問題等もあり、学習者の理解度に合わせて興味関心を惹くことが期待されるものとなっております。

次に、三省堂です。

3年生の26ページをご覧ください。

言葉に触れ、こだわるための素材として辞書の活用が各学年で取り上げられており、ワードハンティングのコラムでは実践的な語彙収集の方法から、言葉に対する興味関心が高められるような内容となっています。

2年生の132ページ、134ページをご覧ください。

平家物語 学びの道しるべや読み方を学ぼう等を通して、古典に親しむだけではなく、物語として読み味わうための、読むことに結び付けた学習活動が設定されていることが特徴です。

次に、教育出版です。

1年生の36ページ、44ページをご覧ください。

学習の見通しを持った構成となっており、詩、小説、説明文等の文章を読む単元では、目標（学びナビ）、活動内容を深める（みちしるべ）、振り返りと学習の流れを一貫して主体的な学びになるように構成されています。

2年生の57～59ページをご覧ください。

図やグラフを用いて、重点の明示が行われております。また、学年によって、字詰めや行数を変えるなど、紙面の使い方が明確に区分されており、見やすく学べる工夫があることが特徴です。

最後に、光村図書です。

1年生の267ページ、2年生の267ページ、3年生の247ページ等、各学年に語彙ブックという付録があり、調べる言葉で終えるのではなく、使う言葉としてたくさんの言葉に出会えるように工夫されており、学習を進めるにあたって非常に有効なものとなっています。

3年生の118ページをご覧ください。

各単元に学習のポイントがひと目でわかる学びの扉というものが用意されており、各単元の3観点での振り返りや総合的な国語力が身につくよう工夫されています。

4社ありますが、子どもが言葉に興味関心を高め、進んで学ぶことができる教科書、伝え合う力や思考力、創造力及び言語感覚を養うことに効果的な教科書という観点で、選定委員会において、比較検討した結果、羽曳野の子どもたち

にふさわしいと意見が多かったのは、生徒が魅かれる教材が多く、学習のポイントや流れが的確であり、フォロー教材も充実し、仕掛けが多く、子どもたちにとって学びやすいという点から、まずは光村図書、次に三省堂、次に東京書籍でありました。

ご審議よろしくお願いいたします。

《教育長》

国語について選定委員会からは、まず光村図書、次に三省堂、次に東京書籍との意見が出ましたが、意見や質問がありましたらよろしく申し上げます。

《古山委員》

物事を深めていくときの深め方みたいな切り口が含まれている、光村図書の学びへの扉をととても良いと思いました。

また、仕事上、大学生と毎日接する中で、自分の気持ちや思いを言葉にしたときに、単純な言葉でしか表現できない学生が増えているように感じているため、語彙ブックも良いものだと思います。

《多田委員》

各社ともすごくいいものである中、選定委員会からは光村図書を1番にしていますが、デジタルコンテンツが少ない気がしますが、どうですか。

《選定委員長》

数で言えば、東京書籍が多かったのですが、デジタルコンテンツを使うというアプローチの使いやすさやスムーズさで言えば、光村図書でありました。

《奥野委員》

1年生の竹取物語という単元を、各社見させてもらいました。

各社とも良いものであるのですが、光村図書のQRコードを読み取ると、読み速度を変えて読んでくれるのがすごくいいなと思いました。

また、相関図があり理解を促してくれて良いなとも思いました。

《新熊委員》

国語は、他の教科にも影響を与える教科であり、大事な教科だと思っています。

また、子どもたちに読書週間を身につけてもらうために、読みやすい教科書であるかどうかという視点で見せてもらいました。

その中で、私の意見としては、光村図書の教科書は行数の下に数字が記載されており、また五行、十行の間には点が記載されていました。他の出版社でも同様の記載はありますが、とても読みやすいものでありました。

語彙ブックに関しても、日本語の表現が非常に豊かであることが私自身も勉強

になりましたし、子どもたちの言葉に深みを与えるものであると感じました。また、各社の少年の日の思い出という単元を比べてみましたが、光村図書では、母親の視点で物語を考えてみるというものもあり、様々な視点で考えることを子どもたちに促しているという点でも良いなと思いました。

【採 決】

全委員一致により国語の採択教科書を「光村図書」とすることに決定しました。

書写

《選定委員長》

国語における教科書は4社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まず、東京書籍でございます。

巻末、104ページの次の書写活用ブックの⑤をご覧ください。

楷書、行書、使い分け、活用が書写活用ブックのゴールとして設定されており、3年間を通した学習の見通しを持ちやすいように構成されているという特徴があります。

また、QRコンテンツとして各学年に、全国学力・学習状況調査や高校入試問題で出題されたものをもとに作られた書写テストを設けており、書写の学習から学力の向上が期待できると思います。

次に、三省堂でございます。

6～10ページをご覧ください。

冒頭の学習のはじめには、書写のスタートとして小学校からの円滑な接続を意識した教材が設定されており、小学校での既習事項を振り返ることができるよう工夫されており、また、86ページの書の古典では、高等学校への接続を意識した内容が設定されており、生徒の興味・関心を引き出す工夫もされているところです。

16ページをご覧ください。

硬筆の練習に係る箇所が、他社に比べて圧倒的に多く配置されており、書写という教科の学習を進める上では、このようにたくさん書くことが非常に有効であるという意図が明確に示されていることが特徴となります。

次に、教育出版でございます。

知識だけでなく、書くことの歴史が各種コラムによって3年間全体を通して常に考えられる構成となっており、なぜ書かれ、なぜ書くのかを考え続けることができます。例えば、36ページや52ページをご覧いただくと、生徒の発達段階に応じて、歴史上の人物が残した文字のテーマ等が設定されており、興味・関心を引き出す工夫がされています。

また、A B判サイズを唯一採用しており、習字用半紙とサイズを合わせることで、文字そのものの大きさを感ずることができるものとなっています。

最後に光村図書でございます。

1教材1事項で構成し、学習のねらいを焦点化することで効率的に力をつけられるよう配慮されており、また、全教材に40ページや94ページのように、教えよう→確かめよう→生かそうという3ステップでの学習の進め方が配されており、このことは、絞られたねらいの中で、一つ一つの学習に見通しを持たせることで、生徒自身が主体的に学習に取り組めるよう、工夫がされております。

また、QRコンテンツが充実しており、合計463点も収録されています。

52ページをご覧ください。

行書スイッチを入れよう等のように、視覚的に行書の特徴が示されており、学習者がより実践的に書写に向き合える工夫されており、また、アニメーション動画等も取り入れ、生徒が親しみやすい内容となっております。

4社ありますが、子どもたちが文字を正しく整えて書くことができ、我が国の伝統的な文字文化を継承し、親しみと理解を深めつつ関心を高め、進んで学ぶ教科書という観点で、羽曳野の子どもたちにふさわしいと意見が多かったのは、QRコードを用いたデジタルコンテンツが充実し、生徒の視覚にとどめることができ、硬筆と毛筆がバランスよく取り扱われている点から、まずは光村図書、次に教育出版でありました。

ご審議よろしくお願いたします。

《教育長》

書写について、選定委員会からまず光村図書、次に教育出版との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いたします。

教育出版だけは、他とサイズが違い、めずらしいと思うのですがどうですか。

《選定委員長》

実技の教科書に、たまに見られます。

《奥野委員》

今の話にもありましたが、教育出版だけがサイズが違うのは、とてもいいなと思いました。

光村図書のQRコンテンツで言うと、硬筆の持ち方が右利き、左利きと両方を取り上げているのがいいと思いますし、88ページには手書きの良さについて記載されており、字を書くことが少なくなっている時代だからこそ、手書きの良さを子どもたちに学んでほしいという思いが感じられてとても良かったです。

《多田委員》

光村図書の書写ブックというのが、別冊になっているのですが、現場での使い勝手はどうかかなと思いました。

また、実際にQRコンテンツもすべて拝見し、とても充実しているなと思いました。

《選定委員長》

選定資料の中にも記載があるのですが、硬筆の練習をする時、何もないところに書くというのも1つの手段ですが、書写ブックのようにガイド的なものがあるというのは、子どもたちには取り組みやすいことだと思います。

現実的には、授業時間数の関係でどこまで活用できるかどうかということはありませんが、やってみなければわからないとも言えます。

《新熊委員》

いきなり書道で毛筆で書くよりも、硬筆で形を整えた上で習字をするのがいいのではないかと思いますので、光村図書の書写ブックはいいなと思いました。実用的な手紙の書き方が多く取り入れられており、また、解説も充実していた点が良かったです。

生涯で一番書くのは、自分の名前だと思います。

その点でも、130ページの人名用漢字があることも良いことだと感じました。

ただ、教育出版に関しても表紙の平家物語やコーティング等、芸術かつ古典的な要素がすごく良いものでした。

両社、それぞれに良いものではありますが、総合的に見て光村図書にしたいと思います。

【採 決】

全委員一致により書写の採択教科書を「光村図書」とすることに決定しました。

地理

《選定副委員長》

地理における教科書は4社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まず、東京書籍でございます。

103ページ、117ページをご覧ください。

各章末に、もっと知りたいというコーナーを設け、発展的な内容が取り扱われており、また、QRコードから歴史・公民のページにアクセスできるようになっています。

次に、172ページをご覧ください。

このページに限らず、全体的に言えることですが、教科書全体が柔らかい色合いで、資料が厳選されているなど見やすい工夫がされております。

次に、教育出版でございます。

2ページをご覧ください。

地理にアプローチには、小学校で学習した地図のきまりや地図帳の使い方、グラフの種類等をふり返る活動を位置づけております。

また、184 ページ、274 ページをご覧ください。

各章の最後に、学習のまとめと表現としてワークシートのように直接書き込む作業を取り入れるなど、発達段階に応じて学習することができる工夫がなされております。

次に、帝国書院でございます。

各ページにQRコンテンツが設けられ、興味関心を持って自ら学ぼうとする意欲を高める工夫がなされております。

154 ページ、155 ページをご覧ください。

本文と資料の関連する箇所には、図、写真や他ページへの適切な参照指示が記載され、効率よく資料の活用ができるように工夫されております。

最後に日本文教出版でございます。

巻頭3 ページ、4 ページをご覧ください。

地理的分野の学習に先立って、地理的な見方や考え方をおおまかにつかむことのできるイラスト等が掲載され、生徒にとって取り組みやすくなるように工夫されております。

61 ページ、105 ページをご覧ください。

議論してみようのコーナーではテーマが設定され、学習したことをもとにそこで挙げられる社会課題を主体的に考え、深めることができるように工夫されております。

4社ありますが、地理では、地理的な見方や考え方を働かせ、課題を迫り解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会を生きるための資質や能力の基礎を育成する教科書という観点で、選定委員会において比較検討した結果、羽曳野の子どもたちにふさわしいと意見が多かったのは、生徒に視覚的に興味や関心を抱かせ、自ら調べ、考える力を育むことができる点から、まず帝国書院、次に東京書籍でありました。

ご審議よろしくお願いたします。

《教育長》

地理について、選定委員会からまず帝国書院、次に東京書籍との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いたします。

この地理の教科書は情報量がすごく多いですね。

子どもたちが、この教科書を見たときに、その情報量に圧迫感を感じないのですか。

《選定副委員長》

以前であれば、社会科の学習には教科書の他に資料集を購入して利用していましたが、社会科に関わらず、現在の教科書はそのような資料が教科書に盛り

込まれたものとなっております。

《古山委員》

地理を学ぶ意味で、導入部分はとても大切だと考えます。

日本文教出版の巻頭の3、4ページでは5つの視点をどのような切り口で見ることがわかりやすく書かれております。

帝国書院でも、巻頭の8ページにまとめて記載があり、また、東京書籍でも6ページの見方として書かれています。

各社、それぞれ導入に関する記載がある中で、帝国書院を選択した理由は何がありますか。

《選定副委員長》

調査委員会、選定委員会として、導入部分だけを比較した意見というのは特にありませんが、全体を通じて特筆すべき事項を検討した結果、先ほど申し上げました意見となった次第です。

また、各社QRコンテンツが充実する中で、中でも帝国書院や東京書籍との意見が多くありました。

《奥野委員》

社会の資料というのは年々更新されていくと思うのですが、このQRコードは最新のものに更新されていくのですか。

《選定副委員長》

QRコードには、外部リンクに飛ぶものもあれば、ワークシートや動画に飛ぶもの等、色々な種類があります。

それらの元となるバージョンが更新されるとともに、書き換えられた資料にアクセスできるかと思います。

《奥野委員》

ぜひ、そのような形になればいいと思います。

また、帝国書院の他教科との関連については、とても良いと思いました。

《新熊委員》

社会全般に関して、私のこれまでのイメージは暗記して問題を解くというものでしたが、今回採択するにあたりすべての教科書を見ていますと、単に暗記させるのではなく、子どもたち自身に考えさせる要素が強いと感じました。

特に、帝国書院の巻頭9に関して、考え方を整理させる思考ツールは、とても参考になりました。これらのツールを使うことで、視覚的に分析しやすくなりますし、巻頭10の地図帳を活用した学び方でも、後ほど採択することとなる地

図の分野と連携させることで、より学びが深くなることを実感しました。
ただ、地図帳を活用しようとの記載はあるが、そのページ数の記載がなかった
ので、今後はその点もあればいいと感じました。

《教育長》

紙の色合いについては、特に話題にはならなかったのですか。

《選定副委員長》

写真の色合いについては、話題にはなりましたが、紙そのものについては、特
段なかったです。

【採 決】

全委員一致により地理の採択教科書を「帝国書院」とすることに決定しました。

地図

《選定副委員長》

地図における教科書は2社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明
いたします。

まず、東京書籍でございます。

8ページをご覧ください。

蜂のイラストが描かれている、Bee's eye というコーナーでは、資料を読み取
る力や活用する力を高め、社会の在り方や自分の行動について学ぶことができ
る工夫がなされており、他にも17ページや128ページ等に100以上の問いが記
載されています。

また、87ページ、88ページをご覧ください。

近畿地方、特に大阪では、地形を縦向きで掲載することにより地形の特色を読
み取りやすいように工夫されております。

次に、帝国書院でございます。

110ページをご覧ください。

近畿地方の文化や観光名所がイラストで掲載され、興味関心を高める工夫があ
り、誉田御廟山がイラスト入りで紹介されております。

また、学習内容の習得や、生徒の調べ学習を支援するQRコンテンツがあり、
個別最適な学びを支援するものとなっております。内容としましては、衛星画
像や鳥瞰図を見ることができたり、動画の説明にリンクするものとなっております。

2社ありますが、羽曳野の子どもたちが、地図に関しての興味関心を持たせる
重要な教科書という観点で、選定委員会において比較検討した結果、羽曳野の
子どもたちにふさわしいという意見が多かったのは、実生活に関連した内容が
多く表記され、生徒が興味深く学習に取り組める点から、帝国書院、次に東京

書籍でありました。
ご審議よろしくお願ひいたします。

《教育長》

地図について、選定委員会からは、まずは帝国書院、次に東京書籍との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願ひします。

《多田委員》

デジタルコンテンツの活用に関して、2社の内容はどうだったのですか。

《選定副委員長》

デジタルコンテンツに関しては、帝国書院は、先ほど説明にもありましたが、衛星画像や鳥瞰図が見ることができ、また、動画に関しては、NHK放送スクールにリンクされており、その説明を見ることができるものとなっております。東京書籍は、Bee's eye という問いに対しての答えが見られたり、デジタル地図というものが表示されたりします。
量的には、帝国書院の方が若干多いかなという感じです。

《多田委員》

どちらも、いいもので甲乙つけ難いのですが、イラストが入っていたりと帝国書院の方が見やすいと感じました。

《古山委員》

私も、甲乙つけ難いと感じているのですが、例えば、子どもたちが個別最適な学びをする際には、東京書籍のBee's eye は、いろいろな視点で書かれていると思います。
また、帝国書院の問いを立ててというものも良いなと感じています。
その中で、調査委員会や選定委員会の中でどのような意見があったのか教えてください。

《選定副委員長》

調査委員会の中で、両社を比較しての意見は出ていませんが、QRコンテンツの豊富さでは帝国書院に、また、地理の教科書との連動という点でも帝国書院という意見がありました。

《新熊委員》

見やすさという点では、両者同じだと思いましたが、帝国書院の鳥瞰図という点では、イラストを用いたり若干丁寧なものではないかと感じました。
また、中国大陸から見た日本の鳥瞰図もとても参考になりました。

羽曳野市に関して、帝国書院には誉田御廟山のイラストや古代の集落として駒ヶ谷の記載があったり、また、東京書籍では、誉田白鳥埴輪制作遺跡、竹内街道、野中寺等の記載があり、両社とも充実したものであると感じました。

ただ、私の認識では、竹内街道は、堺市、羽曳野市、奈良県につながるものですが、地図上では堺市が抜けているのはなぜなのかなと思いましたが、総合的に見て帝国書院をおしたいと思います。

《教育長》

ページ数に関して、22 ページの差がある理由はわかりますか。

帝国書院の方が多いのですが、資料が多いであるとか、内容的になにが違うのですか。

《選定副委員長》

例えば、鳥瞰図であるとかがイラスト入り見開きで記載されている点等が影響しているのではないかと思います。

【採 決】

全委員一致により地図の採択教科書を「帝国書院」とすることに決定しました。

歴史

《選定副委員長》

歴史における教科書は8社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まず、東京書籍でございます。

60 ページ、61 ページをご覧ください。

各章のまとめの活動で、クラゲチャート等の多様な思考ツールが紹介されており、それらを活用して、生徒が学習内容を整理し、学びを深められる工夫がなされております。

144 ページをご覧ください。

こちらのページは、第5章の導入部分となりますが、各単元での導入で、小学校で学習した内容を振り返るためのページが設けられているほか、QRコード、で既習事項を復習できるコンテンツが用意されており、中学校での内容が円滑に結び付けられるように工夫がされております。

次に、教育出版でございます。

22 ページ、23 ページをご覧ください。

各小単元には、学習課題、確認、表現が設定されており、1時間の学びの見通しを持ち、学びの振り返りを設定しやすい構成となっております。

52 ページから 55 ページ、63 ページ、64 ページをご覧ください。

各章に歴史を探ろう、身近な地域の歴史を調べようの特設ページや、歴史の窓

の学習コラムでは、学習した内容について、生徒の興味・関心を広げることができる内容になっており、一層深い学びが探求できるようになっております。次に、帝国書院でございます。

15 ページをご覧ください。

単元を貫く、章の問い、節の問い、各見開きの学習課題、確認しよう、説明しよう、章末の学習を振り返ろうというように問いが構造化され、単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、課題解決的な学習ができる構成になっており、また、資料も豊富で発達段階を考慮した構成となっております。

巻頭 6 ページや 90 ページをご覧ください。

タイムトラベルで室町時代を眺めてみようというコーナーで、イラストやクイズがあるなど、QR コンテンツが大変豊富で、学習内容に関連する動画や、学習を振り返ろうの解答等が閲覧でき、生徒が自学自習しやすいように工夫されております。

次に、山川出版でございます。

156 ページ、157 ページをご覧ください。

全体を通して、歴史的分野において必ず理解すべき基礎的・基本的な人物や語句についての解説が非常に詳細に記載されており、また、時代背景等の解説も丁寧に行われており、生徒が多面的に考察できる構成となっております。このページでは、用語解説を記載する等の工夫がなされています。

また、84 ページをご覧ください。

全体を通して、高校の歴史へのつながりを考えて、より高いレベルの歴史資料が多く掲載されており、中学生でも読み取りやすいように、ポイントを明確にした説明が付されており、また、用語についても深く学べるように豊富に掲載されており、さらには、文末が常体での表現になっていることも特徴となります。このページでは、後醍醐天皇の資料や説明が記載されております。

次に、日本文教出版でございます。

2 ページをご覧ください。

このページでは、この教科書の学び方と構成が記載されています。

QR コンテンツや確認小テスト等、理解度に応じた教材がある等、デジタルコンテンツが大変豊富で、学習効果が高めることができる工夫があります。また、すべての節の導入ページにQR コンテンツのイントロダクションムービーが設定されており、単元の導入や家庭での予習等で活用できるような工夫がなされております。

次に 132 ページ、133 ページ、234 ページ、235 ページをご覧ください。

琉球やアイヌの文化に関する内容や部落問題、女性問題等の人権諸課題に関して、歴史的な経緯と現在の取り組みが丁寧に記述されており、人権尊重の大切さを学習できるよう配慮されております。

また、女性のコラムが設定され、女性たちが社会で活躍する姿が紹介されております。

次に、自由社でございます。

19 ページをご覧ください。

各章の冒頭では、小学校で学習した代表的な登場人物が紹介され、大きな時代区分の歴史を代表的な歴史上の人物を通して大観できるようになっております。また、折り込みで日本と世界の出来事がまとめられた年表があり、大きな歴史の流れを確認できるものとなっております。

254 ページ、255 ページをご覧ください。

全体を通して、章末のまとめの対話とまとめ図のページと章の初めの導入ページが大きな歴史の流れを捉えやすいように、図解で見開きページを活用し、わかりやすく学べる工夫がなされております。

次に、育鵬社でございます。

26 ページ、27 ページをご覧ください。

各時代に代表的な資料や絵図については、見開き 1 ページにわたり大きく掲載されており、その資料等を通してどのようなことが読み取れるか、生徒の学習をサポートする記述が丁寧に記載されております。このページでは、虫の目で見るというコーナーがあります。

93 ページ、128 ページ、131 ページをご覧ください。

全体を通して、歴史ビュー、歴史ズームイン、人物クローズアップ等のコーナーが設けられており、多面的多角的に考察できるように、工夫がなされております。

最後に、令和書籍でございます。

186 ページをご覧ください。

関連資料が多く掲載されており、1つ1つの資料に対する説明や注釈が詳細に説明されております。

404 ページをご覧ください。

各章末には、ディベートしてみようというコーナーが設けられ、対話的な活動を取り入れやすいように工夫されております。

8社ありますが、子どもが言葉に興味関心を持ち、進んで学びができる教科書。伝え合う力や、思考力、創造力及び言語感覚を養うことに効果的な教科書という観点で、選定委員会において比較検討した結果、羽曳野の子どもたちにふさわしいという意見が多かったのは、QRコードの内容が充実し、生徒が主体的に興味深く取り組める点から、まずは帝国書院、次に日本文教出版でありました。

ご審議よろしく願いいたします。

《教育長》

歴史について、選定委員会からまず帝国書院、次に日本文教出版との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願い致します。

選定委員会としては、帝国書院ということですが、私としては人権の観点から、

日本文教出版がかなり丁寧な教科書だという感想です。

《選定副委員長》

帝国書院においても、93 ページ等を見ていただいたら、人権に関するコラムがあり、全体的に22か所に設けられており、人権に関する諸課題の経緯について、人権尊重の立場から配慮した内容が記載されております。

《多田委員》

羽曳野市内の学校で、デジタルコンテンツの活用はどれくらいの割合で行われており、どこまで重視されているのですか。

《選定副委員長》

活用の割合となると、データのなものではないのですが、一人一台タブレットで、毎日自宅へ持ち帰らせて自学自習しております。また、自学自習用のソフトもあります。

全授業で使用するわけではありませんが、子どもたちがタブレットを用いた学習をしたり、また、指導者が大型モニターにデジタルコンテンツを映し出して、みんなで考えたり、意見を出し合うといった活動をしております。

例えば、先ほどにもありました各時代のイラストを投影して、各自が気付いたことを話し合うようなことがあります。

《多田委員》

今、中学校では東京書籍の教科書を使用されていますが、今回は採択で、まず帝国書院、次に日本文教出版との意見でしたが、東京書籍と比べるとどうですか。

《選定副委員長》

比較しての意見は特になかったのですが、教科書が変わることの不具合についての意見も特になかったです。

《多田委員》

それでしたら、地理、地図が帝国書院に決まったこともありますし、連動性も考えると、帝国書院を推したいと思います。

《奥野委員》

日本文教出版の各単元にあるイントロダクションムービーについて、とても良いものだとして見させてもらいました。

また、帝国書院のQRコードの充実やイラスト等も非常に見やすく良いなと思いました。

《新熊委員》

羽曳野市は歴史的な史跡が多くありますが、実際に学校での授業以外で現地視察等の学習をされたりはするのですか。

《選定副委員長》

正直なところ、現地に行つての学習は、移動に要する時間や授業時間数等の関係で難しいのですが、羽曳野市の文化財の多さというのは特筆すべきことです。授業で子どもたちに伝えていくことはしているかと思います。

《新熊委員》

教科書の文字から入るのも必要かと思いますが、イラストから想像することも大切かと思うので、帝国書院のタイムトラベルがとても良かったです。

【採 決】

全委員一致により歴史の採択教科書を「帝国書院」とすることに決定しました。

公民

《選定副委員長》

公民における教科書は6社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まず、東京書籍でございます。

90 ページ、91 ページをご覧ください。

政治や経済分野に、18 歳へのステップというコーナーを設け、生徒にとって身近で具体的な場面から政治や経済をとらえて、公民的資質を身につけることができるよう工夫されております。ここでは、18 歳から選挙権がありますので、ここでは選挙の流れが説明されております。

108 ページ、109 ページをご覧ください。

みんなでチャレンジというコーナーが多数設けられており、学習した内容を基に、現代的な諸課題について、生徒が対話的で深い学びの活動に取り組めるように工夫されております。このページでは、裁判員裁判の模擬裁判の例が設けられております。

次に、教育出版でございます。

16 ページ、17 ページをご覧ください。

各小単元には、学習課題、確認、表現が設定されており、1 時間の学びの見通しを持ちやすく、学んだ内容の振り返りがしやすくなるよう配慮されております。

29 ページをご覧ください。

公民の窓という学習コラムでは、生徒の興味・関心を広げることができる内容になっており、学習した歴史的な分野の内容と関連づけてさらに探求できるようになっております。このページでは、受け継がれる京都の景観について考える

というコラムが記載されております。

次に、帝国書院でございます。

64 ページ、65 ページをご覧ください。

アクティブ公民では、青果店の立ち退きに関して考えようのコーナーがあり、学習を振り返ろうでは、現代社会の諸課題を考察し、解決への取り組みを考えるパフォーマンス課題や、社会参画を疑似体験できるシミュレーション学習を設置しており、また、考えを整理する思考ツールも用いる等の工夫があります。

32 ページをご覧ください。

本文は具体的に例示したり、基本的な用語や概念の理解を優先的に学べるようになっており、社会的事象の背景や因果関係までわかるようにしたりする等、丁寧でわかりやすい表現であり、中学生の発達段階が考慮されております。また、QRコンテンツが豊富に備わっており、生徒が意欲的に学習できるように工夫がされており、自ら補充的な学習ができる等、大きな効果が期待できるものとなっております。このページでは、生徒のオンライン相談や多数決についての記載があつたりします。

次に、日本文教出版でございます。

38 ページ、39 ページをご覧ください。

第1章の導入、個人の尊重と日本国憲法ページ、それと、128 ページ、129 ページをご覧くださいと、市場の働きと経済といったような同様のコーナーがあります。

各章冒頭に、生徒が関心をもちやすいようにイラストによる漫画が掲載されており、生徒自身の日常生活と結び付けやすいような構成となっており、また、随所にQRコードを配置し、学びを振り返るポートフォリオや確認小テスト、動画を盛り込む等、多様で豊富なデジタルコンテンツが用意されております。

33 ページをご覧ください。

アクティビティーというコーナーに、インターネットによる選挙運動活動であるとか、自動運転の車の話題が掲載されています。

続いて、179 ページでは新型コロナワクチンの接種に関して写真やイラストがあり、また、ヤングケアラーに関する記載もあります。205 ページには、ウクライナ侵攻のコラムや、生徒の関心・意欲をより引き出すことができるように、最新の科学技術や新型コロナウイルス感染症、ヤングケアラー、ウクライナ侵攻等多様なトピックを掲載し、学習した内容を生徒がより深い学びができるよう構成されております。

次に、自由社でございます。

4 ページをご覧ください。

他のページにもございますが、やってみようというコラムは、話し合い等の活動が取り組めるよう設けられており、協働的な学びを実践しやすい工夫がなされております。このページでは、インターネットやスマートフォンを利用する時に注意すべき点が書かれております。

続けて、214 ページから 223 ページの巻末の課題の探究ではレポートや卒業論文の作成、ディベートの方法等が丁寧に説明されており、言語活動の充実を図る題材が設けられております。

最後に、育鵬社でございます。

113 ページをご覧ください。

他のページにもありますが、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、確認、探究、見方・考え方、資料活用、TRY！、学習を深めよう、やってみよう等豊富な言語活動が設けられております。

114 ページ、115 ページをご覧ください。

スキルアップ！では、発表や議論のしかた、ロールプレイング、ディベート、K J 法等思考表現する力を身につけられるよう工夫がされております。

6 社ありますが、子どもが言葉に興味関心を持ち、進んで学びができる教科書。伝え合う力や、思考力、創造力及び言語感覚を養うことに効果的な教科書という観点で、選定委員会において比較検討した結果、羽曳野の子どもたちにふさわしいという意見が多かったのは、QR コードの内容も含め資料が豊富で、生徒自らが主体的に学習に取り組むことができる点から、まずは帝国書院、次に日本文教出版でありました。

ご審議よろしくお願いたします。

《教育長》

公民について、選定委員会から、まず帝国書院、次に日本文教出版との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いたします。

《古山委員》

公民で何を学ぶのか、公民の教科書に何を求めるのかという点で、全教科書を見た結果、最も詳しく記載があったのが帝国書院だと感じました。

また、中身に関してどのような内容を考えさせるのか、どのようにして深めていくのかを各社が工夫していましたが、公民的分野の学習の全体像について、まず巻頭に書かれており、どのように現代社会を見るのか、考え方を整理するという風に、導入があって中身を整理する構成がより丁寧に書かれているのは、帝国書院だと感じました。

《奥野委員》

帝国書院と日本文教出版のQR コンテンツの違いはありますか。

《選定副委員長》

帝国書院の方は各節ごとに、日本文教出版の方は各見開きに 1 個ずつ配置されており、数で言うと、日本文教出版の方が若干多いのかなと思います。

ただし、帝国書院の 1 つの QR コードにアクセスすると、動画や外部リンク先

に飛び、用語解説やワークシートにもアクセスできます。

なお、数で言うと日本文教出版の方が多のですが、中身の豊富さで言うと帝国書院だと言えます。

《新熊委員》

公民で、主権は自分たちにあることを学ぶと思うのですが、普段の学校生活の中で、例えば生徒会の会長選挙や校則を変えるなどを、生徒たちだけで話し合うことはあるのでしょうか。

《選定副委員長》

各学校で異なるため、一概には言えないのですが、生徒会の活動は自主的な活動が基礎となっていますので、委員がおっしゃるような活動もあるのではないかと思います。

また、そのように子どもたちが主体的に活動することを学ぶのが、この公民だと考えます。

【採 決】

全委員一致により公民の採択教科書を「帝国書院」とすることに決定しました。

数学

《選定委員長》

数学における教科書は7社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まず、東京書籍でございます。

1年生の215ページ、219ページをご覧ください。

このページでは、体積を学ぶページとなりますが、観察、操作や実験を行う場面では、実際の活動の写真やQRコンテンツに動画を掲載し、活動の様子を具体的に提示するよう工夫されており、また、QRコンテンツを多く取り扱っていることが挙げられます。例えば、グラフの中の点や体積が変えられたりするのが、アニメーション的に見ることができます。

同じく、1年生の91ページから93ページ、103ページ、104ページをご覧ください。

数学の大きな課題の1つに、数学をどのように日常生活に結び付けていくのかという点がありますが、章のとびら、節の導入において、この点に関する題材、日常生活と結びついた題材を多く取り扱い、意欲を持って学習に取り組めるよう工夫がされております。

次は、大日本図書でございます。

2年生の213ページをご覧ください。

特徴的なことなのですが、点字を教材にしてユニバーサルデザインの視点と連

携する等、社会への参画や社会問題について考える課題を取り扱っており、社会形成に寄与する態度が養えるよう、工夫がされております。

また、1年生と2年生の教科書を見比べてもらうとわかりますが、文字の大きさが学年に応じて変えており、中学1年生が見やすく段階的に小学校と接続できるように工夫がされております。

次に、学校図書でございます。

1年生の20ページから23ページをご覧ください。

学習を対話的に進められるように工夫しており、また、question から例へとステップを踏んで学習できるように構成されております。

同じ1年生の60ページ、2年生の196ページをご覧ください。

数学へのいざないでは、身近なところで数学が活用されていることを知ること、例えば1年生ではRSA記号というコンピューターで使用されるものや、2年生では迷惑メールの判別方法に数学的要素がどのように活用されているか等生徒の興味、関心を引き出す工夫がされております。

次に、教育出版でございます。

1年生の21ページ、64ページから66ページをご覧ください。

章の問題を、たしかめよう、力をのばそう、学んだことを活用しようステップを踏むことで、生徒の実態に応じて個別最適に学びを深められる構成になっております。

同じく1年生の97ページ、98ページ、125ページ、126ページをご覧ください。

主体的・対話的で深い学びの視点から、生徒が疑問を持って学び合いながら課題を解決する数学的活動を行えるように工夫しております。

次に、啓林館でございます。

全体的に、色だけでなく、文字フォントには見やすい字体を採用し、文は内容を理解しやすいように配置されており、また、動画にナレーションが含まれているものについては、字幕機能がついており、すべての生徒にとって見やすく学びやすい工夫がなされております。

また、QRコンテンツを活用することで、他社と比べて、教科書のページ数が減り、生徒の持ち歩きの負担が軽減される効果が期待されます。

次に、数研出版でございます。

1年生の34ページ、2年生の17ページをご覧ください。

基本的な知識、技能が無理なく習得できるように、例や問を細かく設定しており、また、例に示された式変形の多くで、その変形の意味を丁寧に説明しております。

次に、2年生の212ページから220ページをご覧ください。

数学で学んだことが、社会や実生活でどのように利用されているか紹介されており、興味関心を引き出す工夫がコラム的に組み込まれております。

最後に、日本文教出版でございます。

1年生の52ページ、53ページ、148ページ、149ページをご覧ください。

数学的活動、学習を通して、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けられるよう工夫されております。流れの、配置的、配列的に構成されているということとなります。

1年生の107ページ、155ページ、3年生の12ページをご覧ください。

イラストで外国にルーツがある生徒が登場したり、ジェンダーレス制服を採用する等、多様性を認める社会が表現されるよう配慮されております。

7社ありますが、子どもが言葉に興味、関心を高め、進んで学ぶことができる教科書。伝え合う力や思考力創造力及び言語感覚を養うことに、効果的な教科書という観点で、選定委員会で検討した結果、羽曳野の子どもたちにふさわしいという意見が多かったのは、一人一台端末を使用していることもあり、圧倒的なデジタルコンテンツの充実や、文字や図表のきれいさとバランスの良さ、また日常につながる学びの工夫がされている点から、まずは東京書籍、次に啓林館、次に学校図書でありました。

ご審議よろしくお願ひ致します。

《教育長》

数学について、選定委員会から、まずは東京書籍、次に啓林館、次に学校図書との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願ひします。

《新熊委員》

私としては、東京書籍を推したいと思います。

理由としましては、1年生が算数から数学への接続がスムーズにいくように、ゼロ章というものが設けられている点が、子どもたちが抵抗なく数学へとつながる点が良かったことです。

また、必ず解けてほしい問題にハートマークを付け、発展問題や応用問題につなげていく点も、苦手意識を持つことなく数学に取り組めるのではないかなと思ひました。

《古山委員》

数学へのハードルを低くするために、日常生活と結びついた題材を取り扱うことや、自分自身で教科書を使用して主体的に取り組める点でいうと、東京書籍や学校図書、教育出版が良いのではないかと思ひました。

その中で、今の説明では、QRコードの豊富さが、子どもたちが主体的に取り組むために有益だということでしょうか。

《選定委員長》

タブレットの活用が進んでいる実態がある中で、QRコードが東京書籍は他社より200ほど多くありましたことや、例えば、グラフを黒板に板書した場合は、動かすことができませんが、これらを使用することでこれが可能となる点等が

調査員の中で高評価でありました。

《奥野委員》

中学3年生になると、子どもや保護者は高校受験を意識するかと思います。東京書籍のQRコードの数の多さは分かったのですが、受験に対応した応用的な問題はあったりしますか。

《選定委員長》

あることはありますが、授業の中では問題を解くことは、教科書とは別の課題を使用していることが多く、教科書はQRコードによって視覚的に理解させることの方に重きを置いているのが実情です。

【採 決】

全委員一致により数学の採択教科書を「東京書籍」とすることに決定しました。

理科

《選定委員長》

理科における教科書は5社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まず、東京書籍でございます。

2年の38ページ、39ページをご覧ください。

実験の手法では、別法も記載されており、様々な実験方法を提示することで深い学びができるものとなっております。

同じく2年生の10ページをご覧ください。

周期表について、生徒の興味関心を引く内容を多く含む内容となっております、視覚的にもわかりやすく工夫されております。

次に、大日本図書でございます。

1年生の巻頭言をご覧ください。

学習全体を通して、生徒の素朴な疑問を大切にし、それを探求する過程で自然や化学の不思議さにふれる感動を味わい、豊かな情操や道徳心が育まれるように配慮されております。

また、教科書がB5サイズで少し小さめにつくられているため、カバンの中で折れ曲がりにくく、比較的扱いやすく工夫がされております。

次に、学校図書でございます。

3年生115ページをご覧ください。

各単元のはじめに設定されているCan-Do Listでは、単元の学習内容に見通しをもち、目的意識を持って学習に向かえるよう配慮がされております。

最近の教育においては、学習の目当てを提示して学習に臨むことが言われていますため、この点を意識されていると考えられます。

1年生の10ページをご覧ください。

多くのページの下部に、この時間の見方、考え方が記されており、科学的に考えるためのヒントとして大きな効果が期待されるところであります。

次に、教育出版でございます。

1年生の43ページ、222ページをご覧ください。

生徒一人ひとりが、自分の考えを持つ場面や考えを発表したり交流したりする場数を数多く設定し、個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培う効果が期待されるものとなっております。今は、対話的な深い学びということが言われておりますので、この点を意識されているものと考えられます。

次に、2年生の38ページをご覧ください。

理科の実験を行う上で、安全確保が非常に大切なものとなっておりますため、実験方法等を説明する中で、より危険を伴う加熱等の作業については、注意マークで強調し、注意を促すものとなっております。

最後に、啓林館でございます。

1年生の139ページ、巻末をご覧ください。

他者の意見を参考に自分の考えの妥当性を検討する場面の設定として、探Q実験では、理科の見方・考え方をキャラクターの対話例で示されており、対話が豊かになるよう工夫されています。また、巻末の探Qシートでは、生徒が立てた課題や仮説、計画等を生徒自身の言葉で書き込み、他者との意見交換を通して自分の仮説を洗練する活動が設定されており、指導要領でいうところの主体的・対話的で深い学びが実現されるよう工夫されています。

2年生の175ページをご覧ください。

実験の操作について、わかりやすい図と精選された説明文でまとめられており、細かすぎることなく全体として見やすい工夫がなされており、また、情報が精選されていることで、大切な内容がわかりやすくなっており、掲載されている写真等も素晴らしいものであります。

5社ありますが、理科の学習で大切なのは、主体的・意欲的に問題解決しようとする力を養い、科学的な見方や考え方を育むことを観点に各社の教科書を比較検討しました。

選定委員会で検討した結果、羽曳野の子どもたちにふさわしいと意見が多かったのは、課題解決における過程を丁寧かつ適切な情報で伝えており、子どもたちにわかりやすく親しみやすい表現や配置となっている点から、まずは啓林館、次に東京書籍でありました。

ご審議よろしくお願い致します。

《教育長》

理科について、選定委員会から、まずは啓林館、次に東京書籍との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願い致します。

私は、教育出版のQRコードは、わかりやすい説明であったと感じましたが、

他の出版はどうですか。

《選定委員長》

QRコードに関しては、各社どこも充実しておりました。
内容的には、各社差はなくて、数で言えば、多い少ないはあるのですが、アプローチで言えば、啓林館や東京書籍が非常に優れておりました。
また、QRコードから展開するときには啓林館の方が、子どもたちの思考を促しやすい特徴が見受けられました。

《奥野委員》

今、QRコードが充実していて非常に良いなと思う反面、私が考える理科は、特に実験においては、子どもたちが実際に実験をする経験を通していろいろなことを学んだり、或いは、時には失敗をして、そこから学ぶことも大切だと思います。それで言うと、あまりにもQRコードが充実しているがために、実験の結果が先にわかってしまい、それで満足してしまうことにならないのかと懸念するところですが、いかがでしょうか。

《選定委員長》

確かに、実体験より先にきれいな映像が見られることにより、興味関心が薄れる傾向も、もしかしたらあるかもしれませんが、実験をして初めて理科の教師と言えるので、実験を進めていく中で、実験の別法を示している東京書籍と、実験の手順が子どもたちに非常に伝わりやすく作られている啓林館との対比がございました。
その中で、子どもたちにとってどうかということの主眼にすると、わかりやすい記述がある啓林館ということとなりました。

《新熊委員》

啓林館の表紙を見ますと、とてもダイナミックで鮮やかで、惹きつけられる感じがしました。この表紙で興味をひいてから、探Qシートで思考のプロセスを整えることは、理科が苦手な子どもにも有効ではないかと感じました。
また、教科書の配置も、真ん中に文章があって、両サイドに表やグラフが書かれてあることも見やすかったです。

【採 決】

全委員一致により理科の採択教科書を「啓林館」とすることに決定しました。

音楽（一般）

《選定副委員長》

音楽（一般）における教科書は2社ありますが、それぞれの特徴的なところを

各社説明いたします。

まず、教育出版でございます。

1の38ページをご覧ください。

このページは、日本語の抑揚をいかした旋律を作ろうとなっております。

また46ページを見ていただきますと、ヴィヴァルディの四季ってどんな曲集をテーマにする等、創作や鑑賞の教材では、分かりやすく図式化した解説や資料が豊富で、段階的に深い学びにつながるように構成されております。

次に、14ページをご覧ください。

ここでは、サウンドオブミュージックから、ドレミの歌とエーデルワイスを取り上げ、比べてみようでは、楽曲の比較を通して、主体的・対話的で深い学びにつながる活動ができるよう工夫されております。

最後に、教育芸術でございます。

2・3の下64ページをご覧ください。

ここでは、ルールを守って音楽を楽しもうというテーマで、情報モラルや著作権についてもわかりやすく説明されており、権利やルールの大切さについて学べるよう配慮がなされております。

1の19ページをご覧ください。

学びのコンパスを活用することで、主体的・対話的で深い学びに向けて手順よく取り組めるように工夫されております。

このページでは、旋律の特徴や曲の構成をとらえようというテーマが設定され、ワークシートを活用していく形となっております。

2社ありますが、子どもが音楽の構造を理解するとともに、音楽活動の楽しさを体験し、心情や感性を育み、主体的・対話的で深い学びに効果的な教科書という観点で各社の教科書を比較検討しました。

選定委員会で検討した結果、羽曳野の子どもたちにふさわしいと意見が多かったのは、人や社会とのつながりで様々な角度から音楽を捉えられている点、また主体的・対話的で深い学びにつなげやすい点、ICTを活用しやすく視認性が良いという点から、まず教育芸術、次に教育出版でありました。

ご審議よろしくお願い致します。

《教育長》

音楽（一般）について、選定委員会から、まず教育芸術、次に教育出版との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしく申し上げます。

《多田委員》

2年生と3年生は、同じ教科書を使用しているかと思いますが、来年度から教科書が変わったときに、不具合等はないのでしょうか。

《選定委員長》

どの教科もそうなのですが、教科書が変わったときには、教科書会社によって異なりますが、補助教材と言われるものがあったりします。継続性はもちろんありますが、單元ごとに学習していくこととなりますので、多少なりとも変わった点はあるものの、先生方が工夫していくことになると思います。

《奥野委員》

教育出版の1年生の64ページに、コンピューターで表現しようというコーナーがあり、すごくいいなと思っていたのですが、同じく教育芸術でも1年生の20ページに、マイメロディというものがありました。両社ともに、音楽に親しみ、こうしたら曲はつくれるのだというきっかけになると感じています。特に、教育芸術の方がコンピューターを使用するのではなく、自分で作業して世界に1つだけの曲をつくるのが非常に良いなと思いました。

《新熊委員》

私は、マイボイスのコーナーが目にとまりました。声変わりをする男の子に対して、歌うことへのアドバイスが教育芸術の方に記載されていたので良かったと思います。

【採 決】

全委員一致により音楽（一般）の採択教科書を「教育芸術」とすることに決定しました。

音楽（器楽・合奏）

《選定副委員長》

音楽（器楽・合奏）における教科書は2社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まずは、教育出版でございます。

72ページをご覧ください。

音のスケッチで活動の順序が示されていることで、器楽と創作の領域を横断的に学べるよう工夫されております。

30ページ、55ページをご覧ください。

表現の仕方を調べてみようでは、ワークシートが記載されており、楽器の構造や音色の共通点や相違点について、比較できるよう工夫されております。

次に、教育芸術社でございます。

43ページをご覧ください。

音楽の構造との関わりについて気付きや理解を促すコラムや、キャラクターの

吹き出しが適切に配置されており、学習目標や学習活動との結びつきが把握しやすいように配慮されています。

71 ページをご覧ください。

リコーダーの楽曲には伴奏の二次元コードが記載されており、個別最適な学びに向けた配慮がなされています。

2社ありますが、子どもが音楽の構造を理解するとともに、音楽活動の楽しさを体験し、心情や感性を育み、主体的・対話的で深い学びに効果的な教科書という観点で、選定委員会で検討した結果、羽曳野の子どもたちにふさわしいと意見が多かったのは、主体的・対話的で深い学びにつなげやすく、また、ICTを活用しやすく視認性が良いという点から、まず教育芸術、次に教育出版でありました。ご審議の程お願い致します。

《教育長》

音楽（器楽・合奏）について、選定委員会から、まず教育芸術、次に教育出版との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしく申し上げます。

《奥野委員》

いろいろな楽器が紹介されていますが、実際に学校現場では、どれくらいの種類の楽器があるのでしょうか。

《選定副委員長》

学校によって異なりますが、これほど多くの種類がないことは確かです。特に和楽器はありませんが、小学校ではソプラノ、中学校ではアルトに加えて、ギター等の弦楽器くらいかと思われます。

あとは、合奏会の活動では、すべての子どもではありませんが、木琴や打楽器に触れる機会があると思います。

《奥野委員》

そのような現状がある中では、QRを使用することでたくさんの楽器に触れられる環境は、大事だと思いました。

《新熊委員》

小学校では、リコーダーを使用しているかと思いますが、中学校との接続に関してはいかがでしょう。

《選定副委員長》

学校によって異なるかとは思いますが、中学校ではアルトを使用しますが、最初はソプラノを使用した復習からスタートすることもあるかと思っています。

《古山委員》

先ほどの説明では、教育出版は器楽と創作の領域を横断的に学べるよう工夫されているとのことでしたが、教育芸術の方も器楽と創作の領域を横断的に学べるよう工夫がなされていると感じていますので、両社を選ぶのが難しいなと感じております。

【採 決】

全委員一致により音楽（器楽・合奏）の採択教科書を「教育芸術」とすることに決定しました。

美術

《選定副委員長》

美術における教科書は3社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まずは、開隆堂出版でございます。

2、3の教科書112ページから115ページをご覧ください。

SDGsに関する題材も掲載されており、国際社会に参画する意識を持たせることができるようになっており、SDGsへの配慮が多く、他教科との横断的な学習に有効であります。

同じく、120ページから127ページをご覧ください。

今、活躍している作家の紹介も多く、キャリア教育につながる効果が期待される場所です。

次に、光村図書でございます。

2、3の教科書27ページから42ページをご覧ください。

これらは、日本絵画についてのページですが、このページは通常の紙ではなく、和紙のような紙に印刷されており、日本絵画をより魅了する工夫がされています。

同じく、72ページ、73ページをご覧ください。

いじめ防止缶バッジの作品や、性の多様性をテーマにした作品を掲載する等、人権について考える作例を多く掲載している。

最後に、日本文教出版でございます。

1の教科書62ページから69ページをご覧ください。

巻末に様々な技法が書かれており、内容に応じて確認しやすい工夫がされています。

2、3下の51ページをご覧ください。

東日本大震災をテーマにした作品を掲載する等、平和について考える機会をつくる工夫がされています。

3社ありますが、羽曳野の子どもたちが大切にしたい、美術の活動を通して、自分を認め、他者を認め、多様な思いや考え方を尊重することができる力を育むとい

う観点から検討した結果、そのなかで最も多く羽曳野市の子どもたちにふさわしいとの意見が多かったのが、資料の豊富さから生徒自らが学習に向かえるという点から、まず光村図書、次に開隆堂出版、次に日本文教出版でありました。ご審議よろしくお願いたします。

《教育長》

美術について、選定委員会からまず光村図書、次に開隆堂出版、次に日本文教出版との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いたします。

《古山委員》

開隆堂出版の表紙を触ったときの手触りが非常に斬新で、美術を学ぶことの楽しさが伝わり非常にいいと思いました。

また、光村図書や日本文教出版にもありますが、今の子どもたちってアニメがすごく身近にあると思います。場面度どこを切り取るかであるとか、臨場感が伝わるような作風であったり、私も漫画の良さを話すことがあります。その点で光村図書にはすごく丁寧に描かれていると感じました。今の子どもたちと身近なものとして美術がつながりやすいと感じました。

《多田委員》

開隆堂出版の表紙がすごく良いなと思いつつ、光村図書の和紙を教科書に使用している点が素晴らしいと思いました。

《奥野委員》

各社のQRコンテンツはいかがですか。

《選定副委員長》

まず、開隆堂出版の方は、はじめにという動画がQRコードで示されていたり、生徒作品も見られるようになっていました。

次に光村図書は、同じく多くの生徒作品が掲示されていたり、技法や作者のインタビューに加えて、美術館にリンクされているなどの工夫が見られました。

最後に日本文教出版は、学びの始めにという動画のQRコードや各項目にQRコードが配置されている形となっております。

《奥野委員》

どの社も充実していることが分かりました。

開隆堂の表紙や光村図書の和紙がすごく良かったと思いますが、光村図書の資料のサイズが教科書と少し違うと思うのですが、何か意図はあるのですか。

《選定副委員長》

おそらく、教科書に挟み込んで持ち運べるようにという工夫かと思います。資料が別冊とされているのは光村図書だけでございまして、この資料の内容が非常に豊富で詳細でした。教科書以外に資料集として購入していたものが不要となるほどでございます。この点においても、調査委員会において高い評価を受けた次第です。

《新熊委員》

光村図書の資料は、特に実技では使い勝手の良いものではないかと思いました。あと、光村図書の 17 ページに作品の完成形ではなく、制作過程がありますが、これは授業では有効なのでしょうか。絵を描くことが苦手な子どもには、このような制作過程を参考として、完成に導くことがあるかと思いますが、逆にこの過程を入れることによって、考え方が固定されてしまうのではないのでしょうか。

《選定副委員長》

発想が豊かではない子どもたちにとっては、一定の制作過程を見ることは非常に有益だと考えられます。

【採 決】

全委員一致により美術の採択教科書を「光村図書」とすることに決定しました。

保健体育

《選定副委員長》

保健体育における教科書は4社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まずは、東京書籍でございます。

口絵2、3をご覧ください。

テクノロジーの進化と保健体育では、これから学習する内容と関連する時代の変化が分かりやすく掲載され、各機器の使用の仕方も改めて考えさせられる内容となっております。

62ページの章末の資料をご覧ください。

私とスポーツというところでは、スポーツに関わるアスリートだけではなく漫画家や製薬会社社員の方の資料等興味深く、多角的な学びができるよう工夫されております。

次に、大日本図書でございます。

4ページ、5ページをご覧ください。

全体的に言えることですが、本文エリアと、資料エリアが明確に区分されており、ねらい、つかもう等、ひと目で分かる構成であり、とても分かりやすいレ

アウトになっております。

次に、21 ページの資料 2 をご覧ください。

バランスの良い食事で、二次元コードで関係のある WEB を載せて、答えとなる資料を載せるのではなく、調べ学習ができるように工夫されております。

次に、大修館でございます

43 ページをご覧ください。

性に対する固定的な考えに気付こうというページですが、性的マイノリティを取り上げ、性の多様性について取り扱われております。

また、各章、つかむ、身につける、考える、まとめる、振り返るの順序で構成されており、学習の流れが明確化されております。

最後に、Gakken でございます。

保健編第 2 章の 4 をご覧ください。

タイトルが、性とどう向き合うかとなっており分かりやすく、また、ジェンダー教育に関わる内容に学びをつなげられるものとなっております。

続いて、2 ページをご覧ください。

データを見る運動、食事、休養・睡眠では、様々なデータがあり学習前学習後に活用しやすいものとなっております。

4 社ありますが、生徒に動きをイメージさせたり、生徒同士の話し合い等によって意識を高めていける教科書という観点で、選定委員会で検討した結果、羽曳野市の子どもたちにふさわしいとの意見が多かったのが、生徒が興味関心を持ち、進んで学ぶことができる点から、まず大修館、次に大日本図書との意見が出ました。

ご審議よろしくお願いたします。

《教育長》

保健体育について、選定委員会から、まず大修館、次に大日本図書との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いたします。

私としては、東京書籍が非常に見やすいかと思えます。

また、大日本図書はQRコードが他社に比べて極端に少ないように思いますが、そのあたりのところはどうですか。

《選定副委員長》

大日本図書が数の少ない理由は、わからないのですが、他社で言えば、東京書籍はまとめのページで配置されており、豊富に取り込まれています。

大修館は、毎ページにQRコードが配置されており、学習のまとめ、ワークシート、クイズ等がありました。

Gakken では、章ごとに配置され、ワークシートや外部リンクに飛ぶようなつくりとなっております。

《古山委員》

全社、食事と健康のことについて見てみたのですが、とても丁寧に書かれていました。

大修館では、自分が実際どのような組み合わせで食べたらいいのかを考えさせられる内容となっております。また、栄養素の不足や食べすぎによる障害の例が書かれていました。他の教科書は、食べすぎから記載されているところ、この大修館は栄養素の不足から書かれており、今、子どもたちの栄養不足が問題となっているため、自分の食事を見直す機会になることと思います。

Gakken では、朝食をとらないとどうなるのかというデータを見ながら、自分はどうのような食事をしたらいいのかを考えさせるものとなっております。

東京書籍では、一日の血糖値の変化、朝食を抜いたらどのように血糖値が変化するのは、中学生の頃から知っておく方がいいなと思いました。

最後に大日本図書では、厚生労働省のバランスの良い食事、これは病院で使う内容なので、子どもの頃から理解していたら、大人になっても困らないと思いつながり読んでいました。

私としては、大日本図書や大修館が良いのではないかと思います。

《多田委員》

私は、見やすさという点から、大日本図書がいいと思います。

ちなみに、デジタルコンテンツは、どこが一番充実していますか。

《選定副委員長》

充実でいうと、大修館です。

《奥野委員》

私は、QRコードで保体クイズの充実がある大修館がいいかなと思います。

《新熊委員》

ストレスやリラクゼーションについての記載を大修館は詳しく載せていました。

今の子どもたちが自分のストレスを自分自身で解消できる方法を見つけてほしいなと思いましたので、大修館がいいのではないかと思います。

《教育長》

選定委員会からは、まず大修館、次に大日本図書でありましたが、委員の意見が分かれているようなので、挙手で採択したいと思います。

【採 決】

賛成多数により保健体育の採択教科書を「大修館」とすることに決定しました。

技術

《選定副委員長》

技術における教科書は3社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まずは、東京書籍でございます。

28 ページ、29 ページ、30 ページ、31 ページをご覧ください。

全体的にですが、各節では、目標、始めの活動、学習課題、まとめの活動等を、全見開き同じ位置に配置し、生徒が混乱しないよう見やすく学べる工夫がございました。

40 ページから 51 ページをご覧ください。

他のページにもありますが、TECH Labo というページがあり、こちらでは基礎的・基本的な技能をまとめて掲載し、困ったときに見やすく学べる工夫がございました。

次に、教育図書でございます。

54 ページから 63 ページをご覧ください。

幅広い実習題材をそろえ、時間数や技能に応じて選択でき、生徒の習熟度や進度差に対応できるように工夫されております。技術の時間数が非常に少なく、1、2年生で1時間、3年生で0.5時間となっており、これらの点で非常によく対応ができていると言えます。

別冊のスキルアシストでは、参考となる資料がまとめられており、学習を進めるにあたって有効であると考えられます。

最後に、開隆堂出版でございます。

160 ページ、161 ページをご覧ください。

全体的に言えることですが、各学習項目では、学習課題を設けて生徒に問題意識をもたせ、ページ下段にあるCHECKで振り返ることで、自ら解決しようとする能力を養うように配置されております。

100 ページ、101 ページをご覧ください。

その他 152 ページや 153 ページにもありますが、各内容のまとめでは、これからの技術について考えさせられるような話題が取り上げられており、将来的にも技術に関心や課題意識を持てるように工夫されております。

3社ありますが、技術の見方、考え方を働かせ、ものづくり等の技術に関する実践的体験的な活動を通して、技術によって、より良い生活や持続可能な社会を構築する資質能力を育成することをめざす教科書という観点で検討した結果、そのなかで羽曳野市の子どもたちにふさわしいとの意見が多かったのが、適切な情報量と生徒にとって見やすく理解しやすい表示と配置であり、またQRコンテンツも充実している点から、まず東京書籍、次に開隆堂出版でありました。ご審議よろしくお願い致します。

《教育長》

技術について、選定委員会からまず東京書籍、次に開隆堂出版との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願ひします。

《古山委員》

技術の時間が少なく、教科書に載っているすべてのことはきっとできないであろう中で、東京書籍の特徴的でおもしろいところは、アプローチしやすいということですか。

《選定委員長》

東京書籍のいい点としては、情報量が多くなく、少なくとも非常に適切な量である点と、QRコンテンツの充実に加えて、非常に見やすい点であります。

【採 決】

全委員一致により技術の採択教科書を「東京書籍」とすることに決定しました。

家庭

《選定委員長》

家庭における教科書は3社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まずは、東京書籍でございます。

QRコンテンツが373本と充実しており、特に幼児の体の発達等、生徒の興味・関心を引き出せるように工夫されております。

76ページ、79ページ、152ページから161ページをご覧ください。

調理実習例が61例、布を用いた制作例は36題材掲載されており、生徒の興味・関心を引き出し、学習を深めることができるように工夫されております。

次に、教育図書でございます。

117ページをご覧ください。

調理実習の手順の写真が大きく掲載され、主な手順の流れをわかりやすく生徒が見やすいように配慮されております。

124ページ、125ページをご覧ください。

調理実習の分量だけでなく、準備すべき調理器具もわかりやすく示されており、安心して調理が始められ、また、アレンジメニューや比較対象、失敗事例等があり深い学びができることが言えます。家庭科では実習することも多いですので、その記載が多く掲載され、優れていると言えます。

最後に、開隆堂出版でございます。

96ページ、97ページをご覧ください。

栄養素や食品に関する学習に入る前に、生活の中で目にする生鮮食品と加工食品の写真が掲載されており、生徒が興味・関心を持てるように工夫されてお

ます。

101 ページ、190 ページをご覧ください。

生活の中では形として見えない栄養素や衣類の汚れ等を写真で示し、視覚的に理解できるように工夫されております。

3社ありますが、子どもが衣食住に興味・関心を高め、実践的・体験的な活動を通して、進んで学ぶことができる教科書、家族や地域の人々とのかかわり方を考え、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うことに効果的な教科書という観点で検討した結果、羽曳野市の子どもたちにふさわしいとの意見が多かったのが、教科の特性である実習の手順が縦に進行しており、失敗例も書かれていることから、生徒目線でわかりやすく丁寧につくられている点から、まず教育図書、次に東京書籍でありました。

ご審議よろしくお願い致します。

《教育長》

家庭について、選定委員会からまず教育図書、次に東京書籍との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしく申し上げます。

《多田委員》

これまでの教科書は、QRコンテンツの量や質が重要であったなか、教育出版は少ないと思いますが、この点はどうか。

《選定委員長》

数で言いますと、教育図書は136個となり少ないということはないです。実習に関する書き方が非常にわかりやすく、その点を評価する意見が多かったため説明内容がそうなった次第です。

《新熊委員》

改めて、教育図書の調理の手順が縦に進行している点が、狭い調理場で見ると非常に見やすいと思いました。

また、家族の書き方も一人暮らしや男性同士のことが書かれている点や、日本では男性の育児休業の取得が非常に少なく、男性の育児参加が乏しい点が書かれていることも良かったです。

《古山委員》

私は、幼児の心の発達に関して全社見てみたのですが、開隆堂出版では、発達に関する現状は書かれていますが、どのように接すれば、心が発達するのか、具体的な方法まで書かれているのは、教育図書と東京書籍で、東京書籍には具体的な関わり方まで書かれており、非常に充実しているなと思いました。

《奥野委員》

失敗事例って本当に大事なことだと思います。いつも上手くはいかないと思うのですが、そこからまた何かを学ぶこともすごく大事なことだと思うので、それが書かれている教育図書がいいと思います。

【採 決】

全委員一致により家庭の採択教科書を「教育図書」とすることに決定しました。

英語

《選定委員長》

英語における教科書は6社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

先ほどから話題のQRコードに関しては、ある程度どの社も充実しております。まずは、東京書籍でございます。

1年生の8ページ、18ページをご覧ください。

他にもございますが、Sounds and Letters が設定されており、文字の綴りと音を絡めたフォニックスを系統的に学ぶことができるものとなっております。

3年生58ページをご覧ください。

Unit Activity や Stage Activity では、既習の文法を使って自分の考えを書く力や、自分の考えを伝える力を育てようとしており、また、Real Life English では実生活に即した場面が取り扱われております。

次に、開隆堂でございます。

2年生41ページをご覧ください。

Our Project では海外でヒットするラーメンのCMづくりという生徒たちが興味を引く内容を取り扱うなど、学年に合わせたテーマを扱える工夫をしております。

1年生60ページ、2年生17ページをご覧ください。

Coffee Break では普段の教科書では出てこないような、オノマトペやSNSでの表現等の実用的な表現を学ぶことができるものとなっております。

次に、三省堂でございます。

1年生7ページからをご覧ください。

Starter では、小学校で学習した内容を復習したり、すでに身に付けた力を確認したりすることで、小学校での学びと中学校での学びをスムーズに連携しております。

デジタルコンテンツを使って、自分の発音をAIに採点してもらうことができ、また、口の動きを視覚的に確認することができる発音図鑑もあり、発音について自主的に学べるような工夫がございます。

次に、教育出版でございます。

1年生93ページをご覧ください。

ここでは、父親がお菓子や料理を作る説明がなされており、ジェンダーにとらわれないような配慮がされております。

次に、3年生 20 ページをご覧ください。

Activities Plus で、実用的な質問に2文以上の英文で答えることを目標としており、その量も多く、応答例も載せているので、生徒が取り組みやすいように配慮がされております。

次に、光村図書でございます。

1年生 71 ページをご覧ください。

性別を特定しない単数の代名詞 they に関する説明が載っており、固定観念で区別をしないジェンダーへの配慮がなされております。he やら she ではないということとなります。

1年生 132 ページをご覧ください。

1年生以外にもあり、すべての学年において、他者と伝え合う喜びを感じることのできる言語活動が設定されており、グループで活動し、課題解決に取り組む姿勢が育つような工夫がされております。

最後に、啓林館でございます。

1年生 102 ページ Unit 9 や 2年生 20 ページ Unit 2 をご覧ください。

年末年始の過ごし方や祭りについて等世界の様々な話題を取り上げ、国際理解・異文化理解を深めることができるものとなっております。

3年 78 ページをご覧ください。

Unit6 では、世界で活躍する日本人女性がテーマとなる等、男女の社会的役割を平等にするジェンダーへの配慮がなされている。

6社ありますが、子どもが言葉に興味関心を高め、進んで学ぶことのできる教科書。伝え合う視点や、楽しみながら学ぶことのできる教科書という観点で検討した結果、羽曳野の子どもたちにふさわしいという意見が多かったのは、タブレット端末を活用するデジタルコンテンツが秀逸であり、発音チェック等も可能となっており、基礎的な英語力の習得だけでなく、生徒が自ら学ぶことが可能である点から、まず三省堂、次に光村図書、次に開隆堂出版でありました。ご審議よろしく願いいたします。

《教育長》

英語について、選定委員会からまず三省堂、次に光村図書、その次に開隆堂との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしく願いします。

《古山委員》

大学で教えていると、学生は話すということはスマホを使ってできるのですが、書いているものを読み込む力は弱いと感じることがあります。その点では、光村図書や開隆堂の何を書いているのかを考えさせるものであるもので、いいのではないかと思いましたが、学習指導要領を見ますと、外国語は外国語によるコミュニケーション、見方、考え方を働かせて、聞く、書くという機会や活動を

通して、簡単な情報や考え等を理解して表現したり伝え合ったり、コミュニケーションに重きを置いているということなので、自分の発音をAIで確認できる三省堂が画期的だと思いました。

ただし、欧米やアメリカの子どもたちが言葉を話すために学ぶ手法であるフォニックスを取り入れている東京書籍もいいかと思いました。

《新熊委員》

三省堂は、小学校と中学校の接続をスムーズにするためにスターターというものを設定しており、いいなと思うのですが、小学校では今、光村図書を使っているかと思いますが、接続という意味ではどうでしょうか。

《選定委員長》

教科書に関わらず、指導する内容は同じであるため、なにか支障があることはないかと思います。

《奥野委員》

三省堂の発音が自主的に学べるというのは、私自身が最初に発音でつまずいて英語が嫌だなと思った時期があったので、すごく魅力的だと思います。

本のサイズは大きめで、私から見ると見やすいのですが、逆に子どもが持つには重たくないのかなと思ったりしますが、発音を自主的に学べるのが決め手となり、三省堂がいいなと思います。

【採 決】

全委員一致により英語の採択教科書を「三省堂」とすることに決定しました。

道徳

《選定委員長》

道徳における教科書は7社ありますが、それぞれの特徴的なところを各社説明いたします。

まずは、東京書籍でございます。

表紙も非常に明るくて、親しみやすいもので、QRコードから紙面と同じ内容の動画にもアクセスでき、文章を読むことが苦手な生徒にも対応できるよう工夫されております。

1年生 119 ページ、2年生 138 ページ、3年生 137 ページをご覧ください。

全学年にソーシャルスキルコラムが用意され、対人関係が良好になることで、自己肯定感が育まれることをねらいとした構成となっております。

次は、教育出版でございます。

1年生 38 ページや 68 ページをご覧ください。

2年生、3年生にもありますが、依存性や情報モラル等のSNSトラブルを各

学年1～2つの題材を取り扱っており、スマートフォンの所持が低年齢化している今、使い方を考える教材が提示されております。

3年生 30 ページ、38 ページをご覧ください。

いじめや差別問題について、家の事情や外見で判断し、差別をする事象をもとに生徒に他者理解について考える題材を取り扱っております。

次は、光村図書でございます。

1年生 6 ページをご覧ください。

全学年、1年のはじめに、道徳の学習を始めようが6ページ程度あり、道徳で学習すること、内容項目22項目、道徳道案内等を紹介し、導入しやすくしております。

1年生 32 ページ、75 ページをご覧ください。

やってみよう、チャレンジ等で、気持ちの伝え方リフレーミングやロールプレイング等、主体的に考えやすいよう工夫されております。

次は、日本文教出版です。

別冊の道徳ノートというのがあり、発問欄が空欄になっているため、生徒の実態に応じた発問を設定する等、柔軟で自由な取り扱いができるよう工夫されております。

また、全体を通してレイアウトに工夫を凝らし、図面が大きく配置される等、迫力あるページ構成で生徒が理解しやすく興味・関心をもてるよう工夫されております。

次は、Gakken でございます。

2年生 94 ページをご覧ください。

こちらの会社は、文章だけでなく漫画風に作られている教材もあり、わかりやすく楽しみながら学べる工夫がございます。

1年生 104 ページから 106 ページをご覧ください。

携帯依存症の子どもが主人公となった教材のあとに、クローズアップではネット依存チェックや歩きスマホの危険性を伝える等、自分の行動を改める機会となるよう工夫されております。

次は、あかつき教育図書でございます。

3年生 90 ページをご覧ください。

2つの異なる意見で善悪ともつかない意見を紹介し、色々な見方で考えるで、どのような観点で学びを深めるべきかアドバイスしております。

3年生 10 ページをご覧ください。

池江璃花子選手、大谷翔平選手、羽生結弦選手等を題材にし、興味がわきやすく深い学びができるよう工夫されております。

最後は、日本教科書です。

障がい理解教育（1年生 42 ページ）、国際理解・多文化共生（1年生 84 ページ等）、平和学習（1年生 144 ページ）、キャリア学習（1年生 18 ページ）、ジェンダー平等教育（2年生 76 ページ）が教材として幅広く取り扱われており

ます。これらの題材は、今ご紹介した教科書以外にも記載があります。
また、ほぼ、すべて見開きのページからスタートするように構成されている。
7社ありますが、羽曳野市の子どもたちにとって、子どもがよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことができる教科書。道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を養うことに効果的な教科書という観点で検討した結果、羽曳野の子どもたちにふさわしいという意見が多かったのは、教材の質、量ともに充実しており、生徒が対話的、主体的に考え、深い学びへの道筋を系統的に展開している点から、まず光村図書、次に日本文教出版、次に日本教科書でありました。
ご審議よろしくお願いたします。

《教育長》

道徳について、選定委員会からまず光村図書、次に日本文教出版、次に日本教科書との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いたします。
光村図書は、色合いがソフトなのですが、逆にインパクトがない印象ですが、子どもたちにとってはどうなのかなど。こちらの方が読みやすいのかな。

《古山委員》

子どもたちは、育つ環境や置かれている環境によって道徳心の育ちも異なると思うため、3年間を通しての自分への振り返りができる教育出版の道徳ノートは良いなと思いました。
また、光村図書のチャレンジ等で自分の気持ちの伝え方を主体的に考えられるというのは素晴らしいと思うため、どちらかを選択するのが難しいのです。

《多田委員》

光村出版と日本文教出版で甲乙つけがたいのですが、別冊の道徳ノートや見やすさ等から私は日本文教出版を推したいと思います。

《奥野委員》

QRコードについては、どうですか。

《選定委員長》

道徳を判読するためのQRコードは、数に差があれども全社とも導入されています。実際、授業をするときに導入として大型モニターにイメージを映し出すなど、先生方は工夫を凝らして授業されていますので、優劣をつけ難いかと思います。
光村図書、日本文教出版ともに充実しておりました。

《新熊委員》

両社とも、子どもたち自身が記入する部分があるので、自分の意見をまとめやすいのかなと思いますが、実際の授業ではこの発問を使われるのですか。それとも先生方オリジナルの発問を使われるのか。

《選定委員長》

道徳が教科になった以降、先生方は特に中心発問に関してかなり研究して授業をしております。経験の少ない先生方は、教科書や指導要領等を見ながらしますが、経験のある先生方は、自分で中心発問を考えられます。また、ワークシートも自分で作られています。

当市の道徳の授業は、あまり書かすことはしないで、中心発問に対する考えの変化と感想をワークシートを用いてします。

《古山委員》

それでは、日本文教出版の道徳ノートは使われないのですか。

《選定委員長》

あれば、もちろん使いますが、なくても授業は可能です。

道徳ノートは非常に充実したものですので、使いこなすことができればものすごく充実した道徳の授業になると思います。

《教育長》

選定委員会からまず光村図書、次に日本文教出版、次に日本教科書でありましたが、私と多田委員は、どちらかという日本文教、他の3人の委員はどちらもいいのではないかという意見でしょうか。

《古山委員》

私は、調査分析された先生方が言う意見は大切だと思いますので、光村図書とします。

《奥野委員》

道徳ノートをどう考えるのかで悩ましいところですが、ワークシートを使用した授業のことについて説明がありましたので、光村図書とします。

《新熊委員》

私も光村図書とします。

【採 決】

賛成多数により道徳の採択教科書を「光村図書」とすることに決定しました。

日程第4 教育長月次報告

教育長から次のとおり口頭にて報告がありました。

- (1) 7月3日に、校長会・園長会が行われました。
- (2) 7月5日に、教頭会が行われました。
- (3) 7月10日に、教育長むけ万博説明会が行われました。
- (4) 7月23日、24日に、はびきの英語ドリーム・フェスティバルが行われました。

日程第5 報告第8号

史跡古市古墳群の追加指定について

- 文化財・世界遺産室長から、資料に基づき史跡古市古墳群の追加指定について説明と報告がありました。

《文化財・世界遺産室長》

本市が具申しておりました安閑天皇陵古墳の追加指定に関しまして、国の文化審議会は、6月24日に開催された文化財分科会の審議・議決を経て、羽曳野市内の史跡の追加指定1件について、文部科学大臣に答申されました。今後は官報での告示をもって古市古墳群の追加指定が確定されます。

現在、古市古墳群では22基の古墳が史跡指定されています。今回追加されるのは、安閑天皇陵古墳周堤南西部において、条件の整った部分となります。指定後は、公有化を図った上で解説板等を設置して、活用を図ってまいります。

《教育長》

周囲が指定されるのですね。

《文化財・世界遺産室長》

安閑天皇陵は、陵墓となるため宮内庁が管轄しております。その周囲には、当時の遺構が数多く残っている可能性があり、当市の保存活用計画にて特別に保護を図っていく地域としております。その中で、土地の所有者と、史跡として指定することについて同意が得られた部分から追加することとなります。

日程第 6 議案第 17 号

羽曳野市教育改革審議会委員の任命について

- 学校教育部理事から、資料に基づき羽曳野市教育改革審議会委員の任命について説明があり承認を求めました。

《学校教育部理事》

昨年 8 月より、教育改革審議会を開催しており、本年においても引き続き審議会を開催するため、各委員を再任し任免を行うため承認を得るものです。

【採 決】全委員一致により原案どおり可決することに決定しました。

日程第 7 議案第 18 号

令和 6 年度羽曳野市市民表彰候補者の推薦について

- 教育政策課長から、資料に基づき令和 6 年度羽曳野市市民表彰候補者の推薦について説明があり承認を求めました。

《教育政策課長》

市民表彰については、特別有功者、有功者、自治功労者、善行者の 4 種類があり、羽曳野市表彰条例及び羽曳野市表彰条例施行規則に基づき、各部局から候補者を選定の上推薦書を提出し、表彰審査委員会にて審査を経た後、市長が行います。

教育委員会事務局が所管する各課からの表彰候補者の推薦につきましては、教育委員会議において承認を得た後、市長に対して推薦書を提出することとなります。

添付資料 1 枚目につきましては、教育委員会事務局各課から提出されました候補者をまとめたものです。

今回は、自治功労者として 15 名の方を候補者とさせていただいております。

なお、今回は特別有功者、有功者、善行者の候補者はございません。2 枚目以降に資料を添付しておりますので、ご審議くださいますようお願いいたします。

【採 決】全委員一致により原案どおり可決することに決定しました。

日程第 8 議案第 19 号

後援名義の使用許可について

- 教育政策課長から、資料に基づき後援名義の使用許可について説明があり承認を求めました。

《教育政策課長》

新規申請事業が 2 件となります。

1 件目の団体名は NPO 法人たしざん、事業名は謎解き冒険ラリー不思議ハンター、事業実施日は令和 6 年 9 月 14 日から令和 6 年 11 月 24 日までです。

事業内容は、公園内に謎解き問題（教科書内容や計算をなぞなどで表現）を設置して、親子で 1 時間から 1 時間半、ウォーキングしながら解いていく謎解きイベントです。

事業の目的は、子どもたちの教育と地域の活性化を目指し、地域で「遊びを通じた実践的な学びの場」に取り組み、情報だけでは得られない自然体験を通じた学習を実際に経験することです。

【採 決】全委員一致により原案どおり可決することに決定しました。

2 件目の団体名は、ソニー生命保険株式会社大阪中央第 1 支社、事業名は Kids マネーセミナー、事業実施日は令和 6 年 9 月 25 日です。

事業目的及び内容は、羽曳野市在住の子育てされているご家庭に、子どもの性格に適した褒め方、接し方等をお伝えすることで子どもへのさらなる理解を深める。また、将来的に必要なお金の資金の貯め方をお伝えするため、小さな子どもがいるご家庭の親子で参加し、子育てに必要な費用やかしいお金の貯め方、子どもの才能や個性の伸ばし方を詳しく解説するものとなっております。

【採 決】全委員一致により原案どおり可決することに決定しました。

日程第 9 報告第 9 号

後援名義の使用許可について

《教育政策課長》

前回の教育委員会議以降に教育長が、専決処分を行ったもの 4 件の報告になります。

1 件目は、専決処分日は 7 月 2 日、団体名は「ソニー生命保険株式会社大阪中央第 1 支社」、事業名は「Kids マネーセミナー」です。

2 件名は、専決処分日は 7 月 3 日、団体名は「大阪府小学校道徳教育研究会」、事業名は「第 55 回大阪府小学校道徳教育研究会南河内大会」です。

3件目は、専決処分日は7月10日、団体名は「羽曳野市民ウインドオーケストラ」、事業名は「羽曳野市民ウインドオーケストラウインターコンサート（第43回定期演奏会）」です。

4件目は、専決処分日は7月22日、団体名は「イオンモール株式会社イオン藤井寺ショッピングセンター」、事業名は「まなびの企画 大阪城天守閣なぞ解き出張講座「ちょっと楽しい！！大阪城のひみつ」」です。

いずれも後援名義使用許可実績のある団体、事業です

日程第10 その他

- (1) 学童保育のお盆の開催について連絡がありました。
- (2) 今後の日程について連絡がありました。

教育長より、次回の8月定例教育委員会議を、8月20日（火）に予定すること通知しました。

[教育長 閉会の挨拶]

閉会：午後4時00分